

一 戦後 77 年 平和のバトンを未来へ！ 一

展 示 (多目的ホール・ロビー)

- ・西三河の特攻隊基地—伊保原・上郷・明治の航空基地
- ・広島の高校生が描いた8月6日の記憶『次世代と描く原爆の絵』(写真パネル)
広島市立基町高校の生徒が、被爆者の証言をもとに絵を描く活動を続けている。
原爆投下直後の惨状を克明に描いた絵。12年間で約140枚にのぼる。
- ・豊田とトヨタの戦争の記憶
- ・写真絵本『ヒロシマ消えたかぞく』 「人間と原爆」(写真パネル)



催 し

戦争体験を聞く会

27日(土) 13:30~15:00

*帰ってきた日章旗、帰らぬ父

*豊橋空襲の恐怖 **多目的ホール**

絵本・紙芝居の読み聞かせ

28日(日)

10:30~ 紙芝居(まーるの会)

11:30~ 絵本の読み聞かせ

多目的ホール (ののはな)

特別企画 世界から核兵器を無くすために

8月28日(日) 13:30開場 **小ホール** 参加費無料

第1部 朗読劇「この子たちの夏」より抜粋

14:00~14:30

—あの時 確かに生きていたこの子たちを忘れないで—

むぎわらぼうしの会

●母と子の愛を引き裂く戦争を二度と繰り返さないよう

1991年主婦7人で朗読劇「この子たちの夏」上演の

会を立ち上げる。今回で64回目の上演となる。



第2部 講演会 「ともに考える いのちと平和

~絵本づくりの現場から~」

14:45~16:15

講師 指田 和さん



●プロフィール

児童文学作家(日本児童文学者協会会員)、埼玉県生まれ。

いのちや自然に関するテーマにひかれ、取材し作品にしている。ヒロシマの原爆や震災を題材にした絵本や本があり、写真絵本『ヒロシマ消えたかぞく』は2020年度青少年読書感想文コンクール課題図書に。

また今夏、『ヒロシマ消えたかぞくのあしあと』(共にポプラ社)を発表。



たった一発の原爆が、鈴木六郎さん一家を消し去ってしまいました。そしてもっと多くの人々や家族も。あのヒロシマで偶然にのこった、一家の笑顔あふれる家族写真は、日々の何気ない暮らしがどれだけ大事なものを気づかせてくれます。

この絵本を通して、原爆の残酷さや戦争のむごさを、また平和の大切さを、それぞれの身に引き寄せて考えるきっかけになれば幸いです。